

ヒメネズミ

この春キノコの菌を埋込んだホダ木を移動する作業に取り組んでいました。平積みされたホダ木を軽トラックに積み込んでいたら小さなネズミがちよろちよろと隙間から這い出してまた隙間に隠れるのです。すぐにヒメネズミだと判定しました。ホダ木の隙間に木の葉を詰め込んだ巣ができました。ドングリの食べかすも沢山あるので、棲家であることがよく分かりました。一緒に生まれた子ネズミ達だと思いますが、成体に近い大きさになっていました。それにしても可愛いネズミでした。5~6匹もいたようでした。田山さんが捕まえたのをご覧ください。そのまま胸に止まってくれたらブローチになりそう。癒される出会いでした。2013年6月20日と記録しておきます。



ヒメネズミはネズミ目ネズミ科アカネズミ属に分類されています。アカネズミより一回り小さいので、樹上でも活動します。巣箱の中に落葉を詰め込んでドングリを持込んでいたりします。分布は北海道から九州までの高山から低地にまで広く、日本固有種です。食べ物はドングリ等の木の实や昆虫類など。夜行性なのでこの日のように昼間にお目にかかれるのは幸運なのです。澄川森林には他にエゾヤチネズミも棲んでいます。これらを狙ってエゾフクロウがしばしば訪れてくれます。天敵はほかにもキタキツネ、タヌキ、アオダイショウやシマヘビ等のベビ類。特にカケスもネズミが大好物なのです。これら澄川の生き物達を育ててくれているのですから、森の生物多様性維持の功労者なのであります。

今年のホダ場は沢の最下流の最初のホダ場に設定しました。来年か再来年にはキノコが発生するでしょう。初年度のホダ木はぼろぼろになって土に還えるの間近です。沢に軽トラックを渡す橋を架けたことで左岸側での丸太の運搬が可能となりました。最下流の橋はリヤカーで渡れますのでホダ木の移動を3人で片付けることができました。

